

団体交流掲示板

～思わずいに行きたくなりそうな素敵な皆さん～
団体の皆さんの活動紹介をちょっぴりリニューアルしました。
地域の活動の参考に、また団体さん同士の交流にお役に立てれば嬉しいです。



もしかしら、こちらの団体さんって私たちのすぐ近くかもMAP

取材
de
キャッチ

社団法人北九州市観光協会 市制50周年を迎えた北九州市ますます張りきって「おもてなしするっちゃ！」

北九州市観光協会では「ここにホスピタリティ運動」という活動を行っています。「ホスピタリティ」とは、「おもてなし」の意味。清掃活動や様々なサービスを通して、協会に所属する企業団体の皆さんを始め、市民の皆さんに、笑顔と北九州っ子らしい元気いっぱいのパワーで行き交う人をおもてなししようという運動です。

普段の清掃活動に加え、年1回この運動の総会が開かれる際に、参加者のみんなでJR小倉駅新幹線口周辺の道路を一斉清掃しています。電車やバスから降りて初めて小倉の街を目にする方も、忙しそうに慌ただしく通り過ぎる通勤客も、気持ちよく道路を利用してほしい、ついでに周りの観光スポットやお店にも足を運んで楽しんでいただけたらもつと嬉しい!というおもてなしの気持ちで皆心をつにしています。当協会は、清掃活動で市制50周年を迎えた北九州のまちを盛り上げていこう!という熱意ある皆さんによる清掃活動です。



取材
de
キャッチ

神山区道路サポーター 昔からの住民が多く地域の助け合い精神が根付き、チームの雰囲気はとて暖かく笑顔が絶えません。

神山区道路サポーターは、平均年齢80歳の元気一杯の団体です。毎月第4日曜日の活動には、多い時で100世帯中の50世帯が参加します。昔からの住民が多く地域の助け合い精神が根付き、チームの雰囲気はとて暖かく笑顔が絶えません。高齢者が多い為、夏は8月～10月、冬は12月～1月の間は活動休止期間とし、無理のない持続的な活動をされているそうです。

山間地区にある神山区は、道路清掃といっても一筋縄にはいきません。山の中の階段を住民が安全に通れる様に、枝切りをしたり、夏草刈りをしたりと、住民による定期的な手入れが必要です。今は元気一杯な70代から80代が協力して掃除や手入れをしていますが、10年後20年後はどうなるのか心配だと話していました。北九州で同じような課題を抱えている地区は多いのではないのでしょうか?



今回は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

ホームページをご覧ください!

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーター

検索

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐにわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともども活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 里山を考える会 Tel.(093)662-3100 担当:石川

No.21



北九州市道路サポーターだより

道路を愛するみなさんを応援!

第8回北九州市道路サポーター総会 プレイベント 「お互いのパワーで絆を深めよう」

2月6日(水)、第8回北九州市道路サポーター総会のプレイベントとして、福岡と長崎で興味深い活動を行っている「NPO法人グリーンバード福岡チーム」さんと「NPO法人道守長崎」さんの講演が行われました。また、講演後に「お互いのパワーで絆を深めよう」のテーマのもとシンポジウムが開催され、ボランティア活動についての意見を交わしていただきました。

講演団体紹介

NPO法人 グリーンバード福岡チーム

会員の約9割が10～30代というNPO団体。福岡を中心拠点に、定例活動による「街と心の美化活動」、「そうじ」というパフォーマンスでの環境意識を育む啓発活動をプロモーションするなど、多彩に活躍中です。



green birdは「ポイ捨て禁止」というメッセージは発信しません。ポイ捨てが格好悪いというメッセージを発信する団体です。このポイ捨てが格好悪い=ごみ拾ってカッコイイよね、と言われるような活動にしていきたいということで、green birdとは、プロモーションプロジェクトと言っています。

掃除をしている姿を見てもらうことで、ポイ捨てしてはいけないんだな、ポイ捨てって格好悪いんだな、というのを伝えていきたいと思っています。

NPO法人道守長崎

長崎において「道」に関わる情報交流や情報発信などの活動を通じ、道を守り育てる活動の普及などに努められているNPO団体。小学校との連携など、楽しい啓発普及活動も実施しています。



2年前、九州整備局の呼びかけがあり、花の苗をなんとか自分たちで育てて、それを使って植栽活動ができないものかなと考え、道路植栽帯管理システムという社会実験を行いました。

道路植栽帯の花を育てるために、企業の皆さんにスポンサーになっていただいで、出資金をもとに花の種を買い、地域の小学校や道守会さんに種を育ててもらい花の苗ができたところで、これを植栽帯に植える、こういうものがシステム化され、広がっていけばいいと思っています。

北九州市道路サポーターは、九州で道に関する様々な活動を行う人々や団体で構成され、民間と行政との協働を基本に活動している「道守九州会議」に加盟しています。道守九州会議には、道路の清掃だけではなく、様々な形でオリジナリティーあふれるボランティア活動を行っている団体がいらっやいます。

今回は、「道守九州会議」を通じて「NPO法人グリーンバード福岡チーム」さんと「NPO道守長崎」の皆様方に、普段の活動内容などをご報告いただきまして、道路サポーターの皆様との親交を深めていただく中で、新たな取り組みへのきっかけとなることを願い、このシンポジウムを企画しました。

第8回 北九州市道路サポーター総会 プライベート イベント

シンポジウム「お互いのパワーで絆を深めよう」

- パネリスト：NPO法人グリーンバード福岡チーム事務局長 岩永真一さん
NPO法人道守長崎理事長 阿野史子さん
NPO法人道守長崎理事 牧圭子さん
- コーディネーター：花井由美子（まっぼっくりの会・実行委員）

花井：早速ですが、green birdさんは、非常に若い方たちを取り込んでいますが、そのひきつける要素は何だとお考えですか、そしてPRの方法もありましたら、アドバイスをお願いします。

岩永：デザインにこだわっているところです。僕たちが活動のときに来ているユニフォームですが、これは企業協賛のスポーツメーカーから提供していただいて作っています。デザインの、かっこよく活動をやるというところで、多くの若者たちが反応してくれているのではないかと思います。もう一つは、名前（ネーミング）です。green birdと聞いただけでは、何の団体かもわかりませんし、ましてや掃除をしている団体ということもわかりませんが、鳥人間のロゴと連動しているのです。デザインとネーミングで、多くの若者たちが反応してくれているのではないかと思います。



花井：では、多くの方を巻き込んで、継続していくポイントは？

岩永：これは、実際にやってみて分かったことですが、年齢に関係なく、人は役割を与えられ、結構頑張れると思います。まずはやっている人たちが楽しんでやっていること、そういう役割を与えられることによって、よりモチベーションが上がってがんばっていくというサイクルができていないかと思っています。

花井：これは、北九州でもよいヒントになりそうです。では、民間団体で継続的に取り込んでいける秘訣、それから活動資金の確保はどのようにされていますか。

岩永：時々ですが、企業さんとコラボレートした清掃活動などをやっています。そういったときに、ちょっとした資金を得て、その資金をもとに運営をやっています。運営資金に関しては、企業協賛というところになってしまっているのが現状です。



花井：NPO道守長崎さんにお聞きします。これから小学校と協働していくなかでの苦勞、課題は？

阿野：少しずつできることから始めて、良いと思う結果が出て「うちでもやろう！」という風にしていかないと、なかなか行政の中からの活動は難しいと、感じています。

花井：それでは2団体にお聞きしたいのですが、北九州の道路サポートが、これから新たな取り組みをしようとしています、その感想やアドバイスをお聞かせください。

岩永：私たちの活動の視点からいいますと「多様性」だと思います。どんな人たちでも受け入れてくれるような多様性を持たないと、今後の発展もなければいろいろな変化にも対応できなくなるのではないかと思います。

阿野：私たち道守長崎は女性が主体です。今はブロックごとにできていて、そのブロックの長の方たちが集まって、情報交換ができています。これからは活動のグループ分けをして、横の連結を作っていこうかなと思っています。

花井：道路サポーター活動は行政が運営をして、それぞれ個別のボランティア団体がそこに登録をしているという形でした。これからは、活動団体が主体的に動くような組織になると思っています。2団体が取り組んでいることをヒントにして、今後は身近なところでさまざまな交流、連携が図れるものと期待しています。



【シンポジウムを終えて】

コーディネーター 花井由美子さん

道守長崎さんのお話は、非常に意義深いものを感じました。たくさんの方のつながりがある、そして、子どもたちを支える幅広い人々の地道な支えがあるのだな、というお話を聞きながら感じた次第です。

green birdさんの活動は、ひとことで言ってスマートです。活動時間も朝の7時半、そして夜の5時半ということで、若者のエネルギーを最大限活動に生かしています。そのプロモーションのすごさを感じました。若者にやりがいを感じさせる方法も、役を与えるということですし、活動自体が本当に楽しい活動なんだということを感じます。

この二つの団体に共通しているのは、やはり多くの人を巻き込んでパワーアップしていることではないかと思っています。私達も新しい組織を立ち上げて、可能性を追求していけたら良いなと思っています。そして、身近な道や暮らしに関心を持つ市民の輪が、もっともっと広がってほしいなと感じているところです。今日は貴重なお時間をありがとうございました。

